



題字は松井岳洋筆

No. 429  
平成27年7月

---

発行  
(公社)日本詩吟学院 認可

**碩心会**  
発行者 上村岳章  
編集者 伊藤岳光  
神奈川県三浦郡葉山町堀内1285  
Tel/Fax.046-875-3397  
URL <http://sekishin.holy.jp>

### 会長退任のご挨拶

顧問 内山 岳青



会長退任に当り、先ずもって在任中に皆様からお寄せ頂きましたご厚情、ご協力に対しまして心より厚く御礼申し上げます。

ここに数年私は、会の目標として会員数の増強

### 碩心会会長に就任して

会長 上村 岳章



このたび歴史ある碩心会の会長の職を受けて、私自身身を賭して務める覚悟でございます。これまでの七十年の人生を考えた時、これ以上の重責、遣り甲斐はありません。

と吟力のレベルアップを掲げ、又、大会等の行事のマンネリ化を防ぎ、会の活力維持・向上に努めたいと折にふれ述べて参りました。

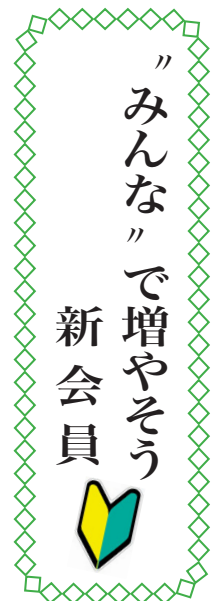
ご承知のように少子高齢化・趣味の多様化等、吟界を取り巻く環境が厳しさを増す中、これらの課題はどれもハードルの高い、難しい問題であります。そのような中であつて、役員をはじめ会員の皆様がこの難しい課題に取り組んで頂きましたことは感謝に耐えません。

振り返ってみますと、皆様と共に悩み苦しん

会の発展、会員増強、吟技の向上を第一の目標として会員の皆様と共に進んでいきたいと願っております。

具体的には役員の方々によく相談をしながら進めてまいります。会員一人一人が普及部員のつもりで、詩吟とは何かを説き理解を求めて地道に運動をして行くことしかありません。

「詩吟」は、大きな声で力いっぱい吟ずることと健康に良く、現代人の持つストレスを解消し、漢詩や和歌・俳句の勉強を通じて豊かな教



だことも、今となつてはその一つ一つが誠に思い出となっております。

今後顧問として、会の運営は上村会長以下現役員の方に全面的にお任せし、二年後には創立80周年を迎える伝統ある碩心会が着実な歩みを進めるよう側面から応援して参りたいと存じます。

会員の皆様ご家族共々健康に留意し、詩吟の持つ良さ・楽しさを十分に堪能され、充実した素晴らしい日々を送られますことを祈念し御礼のご挨拶いたします。

養が身に付き、素晴らしい毎日が約束されます。私はそれを実感する者の一人であります。

これから、二年後には碩心会80周年を迎えることとなります。

80周年を皆でガンバって200人を超える会員数で迎えたものです。

会員増強をお願いして挨拶に代えさせていただきます。

## 平成27年度 碩心会総会開催

日時 5月23日(土)午後6時～8時  
 場所 逗子交流センター 2、3会議室  
 出席者 43名 委任状2名 出席率91.8%

定時総会が開催された。審議に先立ち内山会長より為された挨拶要旨は次の通り。

①会員数については去年4月1日185名だったが今年5月1日現在190名。退会者がいる中で純増は皆様の努力の成果。

②吟力アップについては、神静地区吟詠大会「合吟コンクール」に男子10名が出席、大健闘した。現在、若手指導者(直接生徒を教えている)を3班に分け吟力アップ研修を実施中。

③総本部より会館建設資金として25年10月1日現在の会員数(200名)をベースに200万円の寄付要請があったが、皆様のご協力により2195500円を納入する事が出来た。規定により会長が議長になり審議に入った。

議案1 平成26年度事業報告の件

資料に基づき会長が説明

議案2 平成26年度収入支出決算報告の件

資料に基づき磯村経理部長、小野審査業務部長、高橋教務部長が説明

議案3 会計監査報告及び2号議案承認の件

監事より監査報告があり、2号議案が承認された。

議案4 平成27年度事業計画及び収入支出予算(案)承認の件

資料に基づき内山会長、磯村経理部長が説明  
 審議の上承認された。

議案5 新役員承認の件

一部役員退任に伴う新役員が承認された。

総会は以上で終了。

その他として幾つかの質疑応答があった後、新旧両会長の挨拶があり閉会した。

## 平成27年度 碩心会役員

会長	○上村 岳章
副会長	磯村 岳朋 高橋 岳之 ○有友 嘉岳
総務部	部長 有友 嘉岳
	副部長 小金 岳智 大塚 洋風
審査業務部	部長 小野 岳祥
	副部長 ○小菅 岳倅 ○黒田 慶岳
企画部	部長 ○行谷 隆岳
	副部長 小泉 貴岳 村上 遙山
教務部	部長 高橋 岳之
	副部長 大坪 岳久 ○西岡 岳清
広報部	部長 伊藤 岳光
	副部長 高見 湘岳 森 祐山
経理部	部長 常盤 仙山
	副部長 磯村 岳朋
青少年部	部長 古敷 谷 江山
	副部長 加藤 岳美
普及部	部長 由谷 悦岳
	副部長 鈴木 岳賢 加藤 典山
	副部長 原田 岳義 根岸 和風

逗子地区 部長 照沼 夏山

副部長 菊池 岳悠

葉山地区 部長 森 岳映 菊池 世岳

副部長 ○根岸 岳啓

副部長 ○山本 新岳 中山 辰山

副部長 吉田 桜泉

監事 森 岳靚 山崎 勝風

顧問 加藤 岳洵 ○内山 岳青

参与 村田 岳瀨 宇都宮 岳徳 立澤 岳晴

参与 鈴木 岳倅

参与 市川 岳穂

【○は新任】

## 行事予定

碩心会夏季吟道講座

日時 8月22日(土) 開会9時40分

場所 葉山町福祉文化会館大会議室

第6回尚歯会神奈川吟詠大会

日時 9月18日(金) 開会10時

場所 神奈川公会堂

碩心会秋季審査会

日時 9月23日(水)

場所 葉山町福祉文化会館大会議室

神静地区吟道講座

日時 10月4日(日) 開会10時

場所 三島市民会館

鎌倉市詩吟支部連盟秋季大会

30周年記念大会

日時 10月11日(日) 開会10時30分

場所 鎌倉芸術館小ホール

## 神奈川岳風連合会第24回青少年吟詠大会

松浦みづきさん(高二・相洋) 四冠王の快挙

平成27年6月7日(日)標記の大会が横浜市神奈川公会堂で開催された。県下18の認可団体の幼稚園から高校まで41校の児童、生徒が参加し80名程の青少年吟士が日頃の練習の成果を競い合った。今回は山形の吟道岳鷹会から小学生2名が特別参加した。また静岡から駿河岳風会の少年吟士2名を招待、若さ溢れるはつらつとした吟を披露した。立体吟では神奈川高相岳風のチビッコ吟士による『拳技空手の歌』の勇ましい演技の姿に大きな拍手が湧いた。

競吟では、碩心会から中学生の部で吉田朋之進君(中二・紫陽花)が『朗詠』を力一杯吟じ、高校生の部で松浦みづきさんが『このごろ出雲崎にて』を朗詠、一段と味わいのある吟声で吟じ終わり会場から感動のどよめきが起こった。結果は見事優勝。小学から高校まで、これまで誰も成し得なかった四冠王に輝いた。碩心会のエースとして将来に栄光あれと期待したい。おめでとう、みづきさん。

青少年副部長 加藤典山



四冠王に輝いた松浦みづきさん



力一杯吟じる吉田朋之進君

## 神静地区吟詠大会

5月17日小田原市民会館にて平成27年度神静地区吟詠大会が1000名に及ぶ参加者のもと開催された。内山会長が実行委員長として会を取り仕切られた。

午前の部は独吟コンクールで、漢詩・和歌合わせ59名が全国大会出場を駆け覇を競った。碩心会からは、今原幸風さんが白居易の「對酒」、菊池世岳さんが前田有暮の「向日葵は」で日頃の練習の成果を問うた。神奈川、静岡の両県から参集した出吟者は、さすがに吟詠の風格・持ち味を十分に体現し、聴く者に強い感銘を与えた。その中で入賞するには120%の力を出し切ることが必要かと、改めて痛感させられた。

午後からは25チームによる合吟コンクールで、熊本への出場を目指した。碩心会は錢起の「歸雁」で挑戦し、10名の出吟者は「今年こそは」と舞台に立った。吟じ終わって出吟者それぞれには「やった」という満足感があった。注意されていた吟じ起こしも、ぴったり合わなかった吟調も、練習を超えていた。待ち遠しい審査発表だったが、祝勝会は反省会に替わった。「ヒシヒシと人の心髄にまで染み徹る気魄」(吟道奥義抄)が足りなかったのか。全国大会への挑戦はまだ続く。

一般合吟では草場佩川の「山行示同志」を吟じ碩心会の存在感を示した。(森 祐山)

## 神静地区師範吟詠大会

東伏見支部 大内翠岳

梅雨の晴れ間の6月23日(火)標記大会が小田原市民会館に於いて盛大に開催されました。午前準師範の部、午後師範、正師範、上席師範の部、計94出吟数で、碩心会からは準師範の部に大内、師範の部に菊池世岳先生、上席師範の部に加藤岳洵先生が出吟致しました。私は緊張から思う吟が出来ませんでした。吟者の皆様は長年に亘る研鑽の成果を披露され、殊に最後に登場された加藤岳洵先生は大会の掉尾を飾る見事な吟詠で会場から万雷の拍手を受けられました。

その後、木部岳圭理事長より、徳富蘇峰が熱海の楽閑荘で79歳の時著わした『吟詠十則』を中心に、吟詠に関する有意義な講話があり、一同感動のうちにお開きとなりました。

### 昇伝段位認許

(平成27年7月1日付)

十段4名

74河田好岳 75田口綾岳 76森田祐岳

77大江晴岳

総伝1名

54田中岳景

準師範1名

71黒田慶岳

誠吟会五十五周年吟道大会

平成27年5月31日(日)午後、逗子文化プラザなぎさホールで標記大会が開催されました。主催者挨拶では桑波田会長から、本日は詩吟を楽しみにしている団体も来ておられる。活気のあるところを見せて新入会員を少しでも多く加入させたい。『吟道』の道は遠いが吟をしつかり吟ずることが大切と考え、これからも会一同精進したい旨がありました。

木部総本部理事長から、詩吟はアイウエオンが出せれば誰でも上手になる。大きな声を出せば立派な詩吟ができる。逗子は吟詠上重要な位置を占めていた地であり、今迄以上に自信を持って活動してもらいたい。

神静地区代表神戸岳栄先生から、誠吟会は吟に熱心で神奈川地区を引張って来ている。私も武道等「道」の付くものを求めています。東日本大地震時整然と並んで食事をもらっていた様に、日本人は素晴らしい精神を持っており、持続するよう『吟道』に励んでもらいたい旨がありました。

青少年吟詠では16名が澄んだ大きな声で立派な吟を披露しました。会員皆様の詩吟に打ち込む後姿をみて入会されたと思料され、素晴らしい誠吟会の雰囲気を感じました。

神静地区各会長、並びに総本部先生方の吟詠ではさすがに立派で迫力ある吟でした。最後に大会役員の情感ある吟詠に酔いしました。

(高見湘岳)

ホームページ便り

この6月の1カ月と前回(昨年8月)とのアクセス解析の比較を下表に掲げました。訪問回数は3.5倍、ユーザー数は5.9倍、ページ閲覧数は1.9倍と着実に増えてきています。直帰率(1ページ閲覧後離脱してしまうユーザーの割合)は40%未満を目標としています

	前回(A) 2014年8月	今回(B) 2015年6月	B-A
訪問回数S(回)	313	1,097	784
ユーザーU(人)	151	896	745
ページ閲覧数P(ページ)	2,121	3,981	1,860
直帰率	44.1%	79.0%	34.9%
新規訪問率	40.3%	78.7%	38.4%

が前回より大分悪化しています。しかし、ページ閲覧数が増加していますので、コンセプトまで見直しする必要はないと思われまます。表現や企画、デザインなどの練り直しに挑戦し改善して行きます。新規訪問率が前回より約38%高くなっています。期間内にサイトに初めて訪問したユーザーの割合が増加したことになります

が、リピーターの割合とのバランスも注視し、詩吟愛好家向けだけのホームページから詩吟を始めたかと思える魅力あるページ作りを目指して行きます。

アクセスしている地域のトップ5は、国内では神奈川(145)、茨木(88)、東京(35)、大阪

(34)、栃木(27)、で、海外では、米国(194)、中国(48)、ドイツ(26)、英国(17)、ブラジル(16)が上位にきています。英文でのナビゲーションの必要性が感じられます。(森 祐山)

会員のうごき

- \*退会  
43 村上 岳擁(相洋) 82 野口 紀岳(真澄) 190 藤村 宏(瀨朗)
- \*指導者変更  
幸和支部 嶋原 隆岳→黒田 慶岳
- \*支部長変更  
幸和支部 黒田 慶岳→河田 好岳
- \*紫陽花支部より教場のお知らせ  
場所：元町会館  
火曜日：9:00～10:30(6月～9月)  
14:00～15:30  
木曜日：19:00～21:00

編集後記

中国・長江三峡の周遊客船の転覆事故。李白の「早に白帝城を発す」が浮かんだ。白帝城は「三国志」の劉備が没した城。天然の山水画廊と呼ばれる長江三峡は、世界最大のダム完成で新しい景観が加わった。

漢詩、史書、テレビを通して憧れた三峡下り。

事故原因究明と万全な安全対策が望まれる。 広報部

27年6月現在	会員数
逗子地区	112名
葉山地区	75名
合計	187名